

頓珍漢素人俳壇

本学園の
学生・教職員の方々から
投句いただきました。

鄙気分 春の野に出て テレワーク

多聞

春の図書 マスクの姿 花ざかり

染葉

春風が 読書の頁 めくりゆく

松の実

一枚の パンプが誘う 和布刈祭

花桜

カウンター 書棚に並ぶ 春折々

春菊

残酷な 『荒地』 にいずる ライラック

木綿

花鳥画の 余白狭しと 雉の群

傑作

サクラサク 教科書ふくめ ほんの山

粗茶

春雨や 窓の外みて 読書三昧

泡盛

東風すさび 箒逃れよ 紙吹雪

雀宙

春の名句

花びらの

山を動かす

さくらかな

酒井抱一

●俳句の説明

この句の「山」は、江戸（現・東京）上野の山と考えられている。満開の桜が風に揺れ、花びらがひらひら散っていく。それが作者にとっては「山全体が揺れ動くような酔心地」なのだ。

春の
図書館を
詠む

この句と説明は
本学の所蔵資料
から

長谷川權 編

『大岡信「折々のうた」選 俳句(一)』

岩波書店 2019

請求番号：911.04|Haik|1

本館 レファレンス



過ごしやすい季節になりましたが、体調にはくれぐれもお気をつけ下さい（雀宙）